



大藏書記官兼大藏省監督官侯爵伊達宗彰外
十四名任免並官等陞叙ノ件

右謹テ裁可ヲ仰ク

昭和二十年三月二十七日

内閣總理大臣小磯國昭



内

閣

田

120

めくれず

人内第 三三三 號

起 昭和三十年三月

閣議 昭和三十年三月七日 施行

昭和二十年三月八日

内閣總理大臣

近衛

内閣書記官長

内閣書記官

外務大臣

廣田

海軍大臣

山本

大東亞大臣

廣田

石渡閣務大臣

廣田

内務大臣

磯谷

司法大臣

磯谷

農商大臣

磯谷

町田閣務大臣

磯谷

大藏大臣

堀内

文部大臣

堀内

軍需大臣

堀内

緒方閣務大臣

堀内

陸軍大臣

畑

厚生大臣

畑

運輸通信大臣

畑

大藏書記官兼大藏省監督官 侯爵伊達宗彰

任財務局長

叙高等官二等

大藏書記官兼大藏省監督官 舟山正吉

任財務局書記官

叙高等官二等

朝鮮總督府平安北道知事 信原 聖

任朝鮮總督府慶尚南道知事

叙高等官一等

朝鮮總督府事務官 山地 靖之

任朝鮮總督府平安北道知事

292

叙高等官二等

運輸通信技師 上關德也

同 萩野 熿

同 山東 功

同 後藤憲一

同 内林達一

陞叙高等官二等

同 山田三郎

同 松尾守治

鐵道技術研究所技師 吉田謹平

内閣

陞叙高等官一等

財務局長 服部辰藏

運輸通信技師 山田三郎

同 松尾守治

同 大島太郎

同 上關德也

同 萩野 熿

鐵道技術研究所技師 吉田謹平

朝鮮總督府慶尚南道知事 大野季夫

依願免本官

竹田

内閣人閣議第二三二號

大藏省三三一號

大藏書記官兼大藏省監管官候爵伊達宗彰

任財務局長

叙高等官二等

右閣議二提出又

昭和二十年三月二十五日

大藏大臣津島壽



内閣總理大臣小磯國昭殿

大藏省

274

20.3.24 付受

裏面白紙

内閣人閣議第二三一號

大藏省第三二二號

大藏書記官兼大藏省監督官 舟山正吉

任財政部書記官

叙官二等

右閣議二提出又

昭和二十年三月二十四日

大藏大臣 津島壽



内閣總理大臣小磯國昭殿

大藏省

275

裏面白紙

大日本帝國政府

文官優遇理由書

冊 山 正 吉

□ 優遇令適用條文

第三 條

□ 本人ノ職務
同上在職年

大藏財務局總務部長ニ任命セントスルモノ

日 總在職年數
(口) 現官等
同上經過年數

十六年十一月
高等官二等

四 優 遇 理 由 別 紙 ノ 通 リ

裏面白紙

大日本帝國政府

本人ハ昭和三年三月東京帝國大學法學部政治學科ヲ卒業シ直ナニ大
藏省ニ入り爾來財務行政ニ關スル重要ナル官職ニ歷任シテ功績アリ
今尙當省機構改革ニ際シ本年勅令第六十三號ニ依リ大阪財務局ニ於
テ財務局書記官ノ業務ニ從事中ナルカ直前迄銀行保險局普通銀行課
長兼庶民金融課長ノ職ニ在リテ戰時下普通銀行、貯蓄銀行及信託會
社ノ業務監督ニ關スル事務、其ノ他庶民金融機關ノ検査取締ニ關ス
ル事務ニ從事シテ功績顯著ナリ尙今同本人ヲ大阪財務局總務部長ノ
職ニ任命セントスルモノナルカ事務練熟優等ニシテ且現ニ優遇勅任
官ニ在ルヲ以テ引續キ優遇スルヲ適當ト認メタルニ依ル

裏面白紙

内閣人内閣第一二四六號

乙第 八四號

昭和二十年三月二十六日

内務大臣 大 達

茂

雄

内閣總理大臣 小 磯 國 昭 殿



朝鮮總督府平安北道知事 信 原 聖

任朝鮮總督府慶尙南道知事

敘高等官一等

朝鮮總督府事務官 山 地 靖 之

内務省

任朝鮮總督府平安北道知事

敘高等官二等

朝鮮總督府慶尙南道知事 大 野 季 夫

依願免本官

右閣議ヲ請フ

追而本件人繰ノ都合有之ニ付至急發令方御取計相成度

現一不 現二不 現三不 現四不 現五不

278

退官願

小官儀

今般一身上都合^ニ依リ退官致度候條
御聽許相成度此段奉願候也

昭和二十年三月十七日

朝鮮總督府慶尚南道知事大野季夫

内閣總理大臣小磯國昭殿

揚州梅屋公社

裏面白紙

議第 二三四 號

秘職第六〇號

昭和二十年三月二十四日

連輸通信大臣 前田 米藏



内閣總理大臣 小磯 國昭 殿

稟 請

官等陞叙ノ件

連輸通信省

連輸通信技師 山田 三郎

同 松尾 守治

陞叙高等官一等

連輸通信技師 上 關 德也

同 萩 野 横

陞叙高等官二等

右ノ通官等陞叙セラレ度仍テ閣議ヲ請フ

此二年
無異
昭和二十年
三月二十四日
連輸通信省
大臣 前田 米藏
大臣 小磯 國昭
大臣 松尾 守治
大臣 山田 三郎
大臣 上 關 德也
大臣 萩 野 横



280

281

参 照

同	同	高等官二等	一七 三二五	現官等被令年月日
同	同	同	三 〇 一	昭和二十年三月二十五日迄ノ 経過年月日
同	同	同	同	官 名
同	同	運輸通信技師	同	氏 名
同	同	同	同	氏 名
松	尾	守	治	山 田 三 郎

運輸通信省

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

裏面白紙

奏任文官優遇理由書

上 關 德 也

(一) 適用 條 文

第一條

(二) 現 官 職

運輸通信技師 第二港灣建設部機材課長

(三) 同上 在 職 年 數

一年四ヶ月餘

(四) 高等官三等

二十四年五ヶ月餘

(五) 現 官 職

十五年餘

(六) 優 遇 理 由

同人ハ大正九年十月内務技師ニ任官以來
多年勤績土木建築業務ニ従事シ昭和十八
年十一月港灣建設業務ノ運輸通信省ヘ統
合ニ伴ヒ當省ヘ轉任シ爾來第二港灣建設
部機材課長ノ要職ニ在リテ功績顯著ノモ
ノナル處今般退官願出タルニ付テハ其ノ
功績ニ照シ勅任官ニ優遇ノ要アルニ由ル

282

裏面白紙

<p>(四) 優 遇 理 由</p>	<p>(一) 現 官 職 (二) 同 上 在 職 年 數 (三) 總 在 職 年 數 (四) 高等官三等 及同等在職年數</p>	<p>(一) 適 用 條 文</p>	<p>奏 任 文 官 優 遇 理 由 書</p>	<p>萩 野</p>	<p>横</p>
<p>同人ハ大正十年十二月内務技師ニ任官以來 多年勤績土木建築業務ニ従事シ昭和十八年 十一月港灣建設關係業務ノ運輸通信省へ統 合ニ伴ヒ當省へ轉任シ爾來第三港灣建設部 工務課長ノ要職ニ在リテ功績顯著ノモノナ ル處今般退官願出タルニ付テハ其ノ功績ニ 照シ勅任官ニ優遇ノ要アルニ由ル</p>	<p>運輸通信技師 第三港灣建設部工務課長 一年四ヶ月餘 二十三年三ヶ月餘 十三年二ヶ月餘</p>	<p>第一條</p>			

議第 三五 號

秘職第六三〇號

昭和二十年三月二十四日

運輸通信大臣 前田 米藏



內閣總理大臣 小磯 國昭 殿

稟 請

官等陞叙並免官ノ件

運輸通信省

運輸通信技師 山東 功

同 後藤 憲一

同 内林 達一

陞叙高等官二等

運輸通信技師 山田 三郎

同 松尾 守治

同 大島 太郎

同 上關 德也

同 萩野 廣

依願免本官



284

Handwritten notes and signatures at the bottom of the document.

右ノ通官等陸絳立免官セラレ度仍テ閣議ヲ請フ

逓信省

285

辭職願

小官儀

一身上、都合ニヨリ、辭職致度候間、御聽許相成度比、段及御願候也。

昭和二十年 月 日

才一港灣建設部長

運輸通信技師 山田 三郎

内閣總理大臣 小磯國昭 殿

めくれず

286

辭職願

今般一身上都合依小官儀辭職致度候
條御聽許相成度此致奉願候也

昭和二十年三月 日

運輸通信省第四港灣建設部

運輸通信技師 松尾 守治

内閣總理大臣小磯國昭殿

裏面白紙

退官願

小官儀

今般一身上、都合ニヨリ退官致度候間
御聽許相成度此段奉願候也

昭和二十年 月 日

運輸通信技師大島太郎

内閣總理大臣 小磯國昭 殿

めくれず

めくれず

戦時中... (Faint vertical text)

退官願

小官儀

今般一身上、都合依り退官致度候付
御許聴相成度此段及願候也

昭和二十年 月 日

運輸通信技師

上 關 徳也

内閣總理大臣 小磯國昭 殿

めくれず

退官願

今般一身上都合ニ依リ退官致度候

間御聽許相成度此般奉願候也

昭和二十年 月 日

運輸通信技師

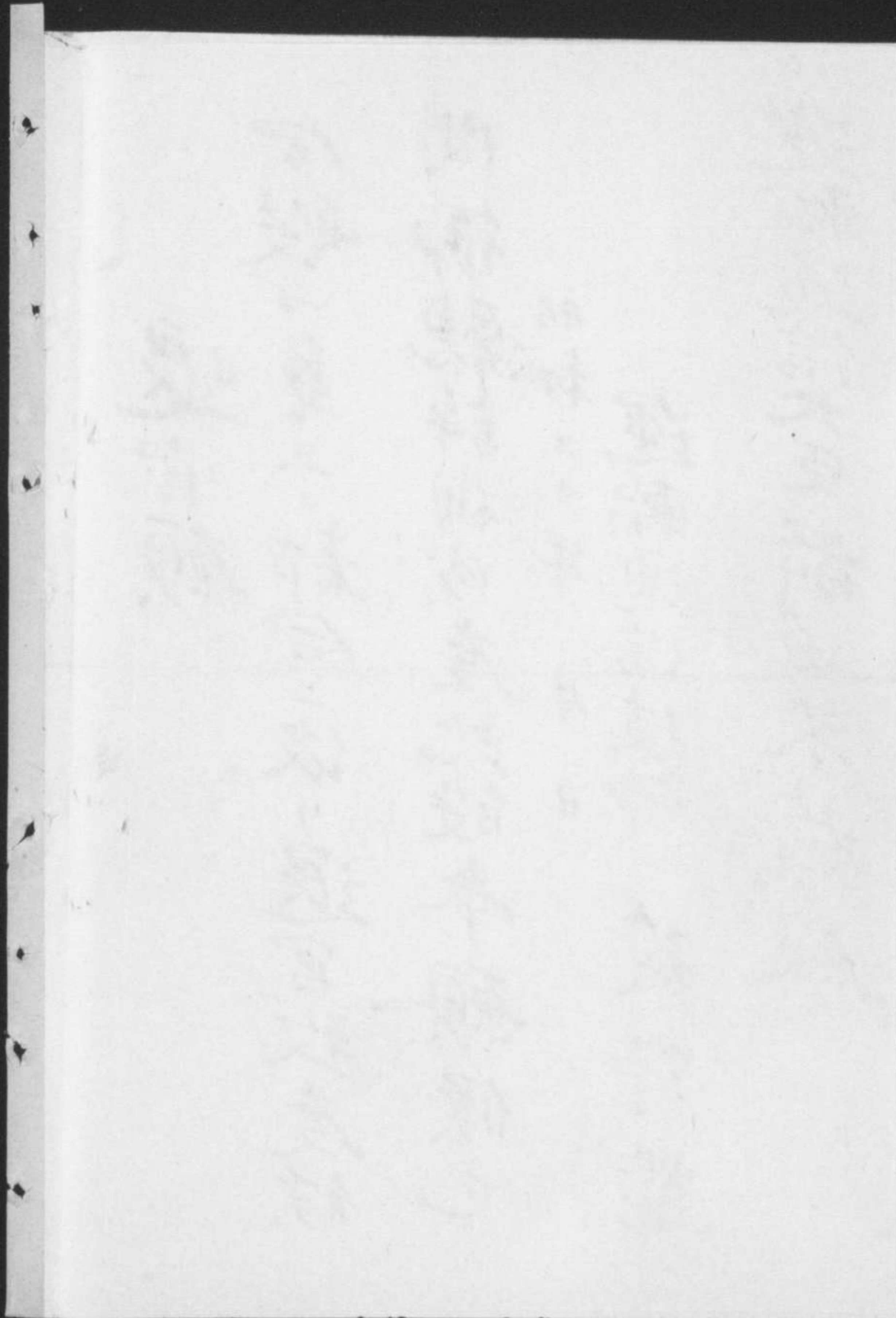
萩野 精



内閣總理大臣

小磯國昭

殿



内閣府 第二三六

秘職第六四三號

昭和二十年三月二十五日

運輸通信大臣 前田米藏



内閣總理大臣 小磯國昭殿

稟 請

官等陞叙ノ件

鐵道技術研究所技師 吉田 謹平

陞叙高等官一等

右ノ通官等陞叙セラレ度仍テ閣議ヲ請フ

203.25

19

参 照

高等官二	昭和十六年七月一日	發令年月日	氏 名
三	十八日	經手年月日	吉 田 謹 平
一	二五	官	
		鐵道技術 研究所技師	

裏面白紙

292

閣議第二三七

秘職第六四二號ノ二

昭和二十年三月二十五日

運輸通信大臣 前田米藏



内閣總理大臣 小磯國昭殿

稟 請

官吏免官ノ件

鐵道技術研究所技師 吉田謹平

依願免本官

右ノ通免官セラレ度仍テ閣議ヲ請フ

昭和二十年三月廿九日發令

20.3.25

93

裏面白紙

辭職願

小官儀

一身上、都合ニ依リ、辭職仕、度候間御聽許
賜、度此段及御願候也

昭和二十年 月 日

鐵道技術研究所技師吉田謹平

北支那同業株式會社社願同

内閣總理大臣小磯國昭殿

内閣閣議ノ二三三

昭和二十年三月二十四日

依願免本官

財務局長 服部辰藏

右閣議ニ提出ス

昭和二十年三月二十四日

大藏大臣津島壽



内閣總理大臣小磯國昭

大藏省

295

203.24 付受

裏面白紙

退官願

小官儀

今般一身上、都合ニ依リ退官
致度候ニ付御聽許相成度此段
奉願上候

昭和二十年三月 日

勇退

(名古屋) 財務局長 服部辰藏



内閣総理大臣 小磯國昭 殿